

総合的な学習の時間 「だれもがくらしやすいまち」

大磯町立国府小学校

単元（題材）目標

- 自分たちのまわりには、様々な人々がいてそれぞれに生活を送っていることに気付く。
- 障がいのある人々や高齢者の生活にふれることにより、誰もが幸せに生活できるにはどうしたらよいかについて考える。
- 皆がともに幸せに暮らせるように、日々の生活の中で自分ができることを実践していこうとする。

(1) 実施時期 10月24日（月）

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年 11名，小学校教員3名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4年所属3名

外部講師：町内手話サークル「磯の会」9名



(4) 実施内容

手話体験：各学級で手話実践

- ・各学級に講師3名（聴覚障がいの方1名，ボランティア2名）
- ・聴覚障がいの方のお話（生き立ち，生活の様子など）
- ・簡単な会話（あいさつ，自分の名前等）
- ・自己紹介
- ・簡単なものの名前（絵を見てどのような手話か考える）
- ・手話における拍手の仕方



(5) 成果

- 手話に興味をもち，手話であいさつをしたり，自己紹介をしたりすることができた。手話によるコミュニケーションの楽しさを味わうことができた。
- 聴覚障がい者に対する理解を深め，困っている人がいたら助けたいという心情をもつことができた。